

中国との LAC 付近における中印両国軍の衝突に関する注意喚起

1 ラダック連邦直轄領の中国との実効支配線（LAC）付近において、インド及び中国の両国軍による衝突があり、これまでに複数の死傷者が出ています。

報道によれば、両軍は5月上旬から両国の実効支配線のあるパンゴン湖周辺など数か所でにらみ合い、小競り合いも発生してきています。さらに、今月15日夜から16日未明にはバルワン渓谷で衝突が起き、インド政府によるとインド軍兵士20名が死亡したとのことです。中国側は未発表ですが、43人が死傷したとの報道があります。

このような状況を踏まえ、くれぐれも同地域への渡航は止めてください。

2 ニューデリー市内においては、在インド中国大使館前での抗議活動が行われているほか、ディフェンスコロニー地区での中国製品不買運動が起こっている等の情報があります。今後、市内の他の地域や他の都市においても同様の活動が起こる可能性があります。

3 また、マハーラーシュトラ州ムンバイ市の中国総領事館周辺での抗議活動は、現在確認されておりませんが、報道によれば、ムンバイ市やグジャラート州アーメダバード、バドーダラ、スーラト、ラージコートでは、一部の者が路上で中国製の携帯電話やテレビ等電化製品やおもちゃなどを壊す・燃やす、窓から投げ捨てる等の行為に及んだほか、習国家主席の写真を燃やしたとも報じられています。

中国に対する抗議行動等が今後起こる可能性がありますので、注意してください。

4 在留邦人の皆様及びインド滞在中の皆様におかれましては、今回の衝突に対するデモ活動などの現場付近にいた場合、中国人であると誤解され、不測の事態に巻き込まれる可能性があります。つきましては、最新情報の入手に努め、不測の事態に巻き込まれないよう細心の注意を払うとともに、抗議デモの現場やシュプレヒコールをあげる集団には決して近づかないでください。

【問い合わせ先】

在ムンバイ日本国総領事館・領事班

電話（91-22）2351-7101

メール ryoji@by.mofa.go.jp